

募集概要

- 4 健康経営優良企業(大規模)部門
5 健康経営優良企業(中小規模)部門



健康経営優良企業部門(大規模/中小規模)



募集対象
企業

令和6年7月31日(水)時点で
清流の国ぎふ健康経営宣言企業として登録している企業。

以下の(あ)～(か)を満たすこと。
(え)(お)についてはいずれかの要件を満たしていること。

応募基準

(あ)	特定健診受診率 95%以上、特定保健指導実施率 50%以上
(い)	がん検診受診率 60%以上 (胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん いずれかの項目)
(う)	ストレスチェックの実施
(え)	食生活の改善に向けた取組みの実施又は運動機会の増進に向けた取組みの実施 ◎食生活の改善に関する 研修や情報提供等の実施 ◎野菜摂取の普及 ◎減塩の推奨 ◎朝食摂取の促進 ◎運動に関する研修の実施 ◎清流の国ぎふ 健康スポーツポイント事業への参加 ◎スポーツクラブの活用促進 ◎職場におけるレクリエーション、体操の実施 ◎ウォーキング等の運動の推奨 など
(お)	禁煙支援または受動喫煙対策 ◎敷地内全面禁煙の実施 ◎屋内全面禁煙の実施(屋外に喫煙所あり) ◎屋内全面禁煙の実施(屋外に喫煙所なし) など
(か)	その他健康づくりの取組み、県内企業の模範となる取組みを実施

選定方法

上記の宣言企業のうち、応募基準を満たすものとして応募があった企業について、ヘルスプランぎふ21推進会議委員等により構成される、清流の国ぎふ健康づくり優良活動表彰選定委員会において、個々の取組み状況を評価し、選定。評価にあたっては、下記の「評価基準」を踏まえて実施。

評価基準

提出された取組み状況について、「従業員の健康への配慮」「取組みの工夫」「県内企業への影響」等の観点から、より優れた取組みについて評価。



令和6年度 清流の国ぎふ
健康づくり優良活動表彰



団体部門

生活協同組合 コープぎふ

POINT

- 地域に根付いた組織の特性を生かし、独自の健康講座を県内各地で7年間開催
- 講座内容を冊子にまとめ、県民の日常的な健康づくりの継続を後押し
- 各地の健康課題の解決に向けて行政と連携

DATA

〒509-0197 各務原市鵜沼各務原町1-4-1
TEL.058-370-6875

設 立 / 1999 (平成11) 年
代 表 者 / 理事長 根崎周一、専務理事 児玉幸夫
従業員数 / 1,195名 (男性442名・女性753名)

紹介動画は
こちら



住み慣れた地域で県民が
いきいきと過ごすため
健康講座を各地で開催

生活協同組合コープぎふ



内容を冊子にまとめ健康づくりの継続を後押し

運動や食生活、生活習慣とさまざまなテーマで開催する「おとなの健康大学」ですが、「どのテーマでも日常生活に取り入れやすい、続けやすい内容意識しています」と

市川さん

執行役員の市川盛嗣さん。講座が終わった後も継続しやすいように、講座の内容を盛り込んだ冊子を制作して参加者に配布しています。

体操冊子の中には、初期から講師を務めた健康運動指導士の岩木博美氏とコープぎふが一緒に制作した「コープぎふ頑張らない体操」を掲載。この体操はコープぎふのオリジナルソングに合わせて体を動かすもので、冊子は初めて見る人にも分かりやすいように工夫を凝らしています。他にも食事における減塩のヒントや認知症予防の方法などを加えて全50ページの充実ぶり、情報は毎年更新しています。広報担当の大坪陽子さんは「この講座の参加や体験をきっかけにして、自発的に継続的に健康づくりに取り組んでもらえたら」と話します。

大坪さん



バランスの良い食事をわかりやすく紹介

行政と連携して体験型ブースを設置

会場では県内各地が抱える健康課題への解決を後押ししようと、各市町村と連携したブースを設けて、行政が取り組む健康づくり活動のPRや検診の呼びかけなどを行っています。

その他、手をかざすだけで野菜摂取量が分かる「ベジチェック」、県保健医療課・保健所と協働し、



日頃の食事バランスがわかる「食育SATシス

テーマや野菜の重さ当てクイズ、骨密度測定なども実施。参加者は講座前後の空き時間に利用し、これらのブースを回って自身の健康状態を気軽にチェックできます。



多村さん

開始前から行列ができるほどの人気で、前回参加したときと数値の変化を比較している人もいます。

常務理事の多村幸司さんは「参加する方の健康意識の高さを毎回実感する。引き続き若い方から高齢の方まで参加いただけるような企画を考えていきたい」と話しています。

CHECK

食品などの宅配や店舗販売を通して、人々の健康的な生活を支える生活協同組合コープぎふ。通常業務以外でも人々の健康づくりを応援しようと、独自の健康講座「おとなの健康大学」を実施しています。組合員に限らず、県民の誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられるようにと始めたこの講座は、生活に取り入れやすい内容で開催しており、幅広い世代から支持を集めています。



7年間継続して開催
幅広い世代に高評価

「コープぎふが、独自の健康講座「おとなの健康大学」をスタートしたのは2017年。地域に根付いた組織の特性を生かして、24年までの7年間で約20回、県内の各地域で開催してきました。

企画当初は高齢者の健康



維持をテーマとしていたため、無理なくできる体操や、生活習慣病予防、フレイル予防のための食事改善といった内容が主でした。しかし近年は、若いうちから健康づくりを意識してもらいたいという思いから、筋トレやヨガといった、幅広い世代が楽しめる内容を増やしています。

講師の選定にも力を入れており、地元で活躍する医療の専門家やテレビ等で運動の大切さを発信する著名人など、さまざまです。

こうした魅力的な内容により「うれしい」と毎回、応募開始直後に定員が埋まってしまう。



松原さん

と広報担当の松原弥生さん。満足度も高く、参加者からは「体だけでなく心も豊かになれる」「健康を楽しく考え



人気講師による講座など内容も充実

ることができた「次回も参加したい」などの声があり、好評を得ています。会場によりですが、1回で100人前後が集まり、これまでの累計参加者数は2000人を超えます。

組合員に限らず県民誰もが応募でき、毎回4割程度は非会員。比較的50〜60代の女性が多いですが、夫婦や親子、友人同士での参加も見られます。「前回がとても良かったから」と、継続して参加する人も多くいます。